

はじめに

令和元年度末からの新型コロナウイルス感染防止対策によって日常生活はもちろん学校生活も激変し、学びの場としての「学校」の存在価値が改めて問われたように思う。子供たちに学力を付けることは学校の命題ではあるが、学習だけが学校での学びではなく、多様な集団活動でこそ将来にわたって人と協働・協働し社会で活躍できる人を育てる事に繋がることを確信した。

学校のあるべき姿をしっかりと見据え、西浮間小に学ぶ子どもたち一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるような力を育てていく。そのために、児童の知的好奇心と自ら学ぶ意欲を高め、分かる授業の創造を通して確かな学力の定着を図る授業を目指し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を進めていく。

また、自他を大切にす豊かな心の育成のために道徳教育や特別活動の取組の充実とともに、基本的な生活習慣の育成や体力の向上に向けた取組を通して知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に取り組んでいく。

学校教育目標

自ら育つ子

やってみたい！

なぜだろう？ 知りたい！

調べたい！ 挑戦したい！

×間違えたくない・・・

×失敗したら・・・

×面倒くさい・・・

×自分には関係ない・・・

「自ら育つ」ために育てたい力・資質

- ・ **自主性** 人に言われる前に、**やるべきこと**を自分でやる力
- ・ **想像力** 実際には経験していない事柄や人の思いなどを推し量る力
- ・ **主体性(自己決定力)** **何をすべきか**自分の意思や判断で行動する力
- ・ **創造力** 今ここにはない新たなことを創り出す力
- ・ **協調性(よりよい仲間づくり)** 互いに高め合い、共通の目標や目的に向かって仲間と助け合う力

令和5年度の重点

「主体性と創造力」の育成

「育てる子供の姿」(目指す児童像)

- ◎自分から考え、考えたことを生かし、行動できる子
- ◎見通しを持って物事に主体的・協働的に取り組む子
- ◎自分のため、人のため、みんなのために頑張れる子
- ◎気持ちよいあいさつと、適切な言葉遣いができる子
- 自己有用感をもち、互いの良さを認め合う子ども
- 相手の立場に立って考え、人の思いを想像できる子
- 命と身体を大切にし、自分をよりよく鍛えられる子

目指す学校の姿

- ◎子供も、教師も、保護者も、地域も、**仲間と共に喜びを感じる楽しい学校・誇れる学校**
- ・安心安全で自分らしくいられる心地よさと高めあえる喜び <いじめをしない・させない・許さない意識と態度の育成>
- ・学ぶ楽しさ、できる喜び <確かな学力の向上>
- ・集い、力を合わせる楽しさ、心がつながる喜び <豊かな人間力の育成>
- ・頑張る楽しさ、やり遂げる喜び <健全な体力と気力の育成>



目指す教職員の姿

○全教職員が全児童の担任

- 子供の成長に夢をもち、教育の理想をもつ
- 前例踏襲にとらわれず、常に進化を目指す

いじめを見逃さない・許さない学校

1 全教育活動を通じた「いじめは絶対にゆるさない、見逃さない」意識の強化

- ◎ いじめの芽（いじり・軽んじ）を生まない！見逃さない！
- ◎ 「してはならないこと」「すべきこと」の指導徹底 <西浮っこの約束>
- ◎ 「自分は関係ない」という傍観者をつくらない、見て見ぬ振りをさせない指導
- ◎ 「正しい行動」をきちんと皆の前で評価する

2 よりよい学級集団（学習集団）づくり ⇒ 豊かな人間関係づくり

- ◎ 学級目標を大切に学級経営の充実<自己有用感を高める>



～「いじめをしない・させない・ゆるさない」の徹底～

- ◎ 失敗が許される・ばかにされない集団づくり<支持的風土の醸成>
- ◎ 学ぶ喜び、できる喜びのある授業の実践
- ◎ 学習規律・学校と社会のルールとマナー・情報モラルと一般モラルの指導徹底
- ◎ 特別支援教育の充実

3 内省する力、相手の思いを想像する力を鍛え高める

- ◎ 「内省する力」＝「自分の言動を振り返る力」を鍛える
- ◎ 「想像力」＝「『思いやり』の基礎力」を鍛える

確かな学力の向上 ～生涯にわたって生きてはたらく知性の基礎を育てる～

1 学びの基礎となる力の確立 ⇒ 学習規律の徹底と家庭学習習慣の確立

- ◎ 「忘れ物0」 ◎あいさつ、返事、起立 ◎ 正しい姿勢と正しい鉛筆の持ち方
- ◎ 家庭学習＝宿題ではなく、家庭で学習する習慣付け ◎ 復習（繰り返しドリル学習）は家庭学習で徹底

一人1台PC「きたコン」の効果的活用

学年×10分+α

2 基礎・基本の定着を図る指導の徹底 ⇒ わからないままの子をつくらない、そのままにしない

- ◎ 個に応じた指導の充実 ・PU 講師との連携 ・3～6年放課後フォローアップ教室実施 ・東京ベーシックドリルの活用
- ◎ 算数少人数指導・習熟度別指導の充実 ・3～6年生の算数の授業は「学級+1または2」の習熟度別コースで実施

3 主体的・対話的で深い学びの実現 ⇒ 「自分から、みんなと学ぶ」「自分から、みんなと活動する」相互作用のある対話的な学びの工夫

- ◎ 「自分から学ぶ」「自分で学ぶ」態度の育成 ・「なぜだろう?」「知りたいな」のある授業づくり ・「調べる→発表する→討議」等の活動の工夫
- ◎ 学ぶ喜び、できる喜びを体感させる授業づくり ・「みんなで学ぶ」「みんなで活動する」授業 ・体験学習、校外学習、ゲストティーチャー

4 しっかり考え、しっかり伝えるように表現するための言語能力の向上 ⇒ 読書習慣の定着

- ◎ たくさんの言葉に触れ、たくさんの言葉を使いこなす力の育成 ・体験を言葉に表す活動の工夫 ・「自分の思い、考えをもつ→まとめる→伝える」活動の工夫
- ◎ 読書時間・読破冊数・読書の質の向上 ・学校図書館利用時間の確保 ・読み聞かせやブックトーク等の工夫 ・家庭を巻き込んだ読書活動の実施



豊かな人間力の育成

～仲間と心を通わせ力を合わせて、よりよく生きる力を育てる～

1 人との関わりを大切に、コミュニケーション能力を高める

- ◎ 今年度の重点 「あいさつと返事の徹底」
- ◎ さくら草栽培活動を通じた地域を愛する気持ちの醸成

2 特別活動の充実 ⇒ 自主的・実践的に取り組む力、人間関係を形成する力

- ◎ 「付けたい力」を明確にし、児童が本気で取り組む学校行事の実践
- ◎ 学級活動の充実 ・みんなで話合いみんなで決めてみんなで実践する活動を重視
- ◎ 児童が主体的に取り組む児童会活動 ・委員会、クラブ活動の工夫と充実

3 本気をだして頑張ったことが認められる学級・学校

- ◎ 頑張ることはかっこいい、頑張る自分が好き、と思える指導と経験を積み重ねる
- ◎ 自分のための頑張りからみんなのための頑張りへ ・互いに認め合う人間関係づくり

4 特別支援教育の充実 ⇒ 一人一人に「特別な支援」を普通に行う授業づくり

- ◎ 巡回指導教員、巡回心理士、スクールカウンセラーの専門性を生かした支援の実施



健全な体力と気力の育成

～あきらめず、投げ出さず、頑張りぬく活力のある人間を育てる～

1 自分の健康を考えずすんで体を鍛える子の育成<体力・運動能力の向上>

- ◎ 健康的な生活習慣の確立 「早起き！早寝、朝ごはん」
- ◎ 運動習慣等をしっかり身に付けさせる WITH コロナ下ならではの取組

3 食育の推進 ⇒ 望ましい食習慣及び食のマナーを身に付ける

- ◎ 自分の健康を考えた食生活・食習慣 ◎正しい箸や食器の扱い方

4 安全に対する意識と態度の育成 ⇒ 自他の命を大切にす指導の充実

- ◎ 防災教育の充実 ◎ 交通安全指導の徹底 ◎ 生活安全に関わる指導の充実 ◎ 不審者等犯罪にまきこまれない指導の充実

学校と家庭は子供の健やかな成長のための両輪！

片方の車輪がどんなに頑張っても、本体はその場でグルグル回っているだけです。前へ進むためには、気持ちを合わせ、同じ力で同じ方向へ進んでいかなければなりません。保護者の皆様も、地域の皆様も、チーム西浮間の一員です。どうぞよろしくお願いいたします！